

新たな振興計画（素案）

福祉保健部会 調査審議結果報告書

令和3年12月

沖縄県振興審議会
福祉保健部会

新たな振興計画（素案） 福祉保健部会調査審議結果報告書 目次

目次

1 本報告書の位置づけ

2 福祉保健部会の概要

- (1) 福祉保健部会の所掌事務について
- (2) 福祉保健部会の調査審議箇所について
- (3) 福祉保健部会の構成について
- (4) 福祉保健部会の開催実績について

3 福祉保健部会における調査審議結果

- (1) 新たな振興計画（素案）等に対する修正意見について
- (2) 関連体系図（案）に対する修正意見について
- (3) 自由意見について

別紙 1－1 新たな振興計画（素案）に対する修正意見審議結果一覧（福祉保健部会）

別紙 1－2 新たな振興計画（中間取りまとめ）に対する修正意見審議結果一覧（福祉保健部会）

別紙 2 関連体系図（案）に対する修正意見審議結果一覧（福祉保健部会）

別紙 3 自由意見の一覧（福祉保健部会）

1 本報告書の位置づけ

本報告書は、沖縄県振興審議会に諮問された新たな振興計画（素案）について、福祉保健部会における調査審議結果をとりまとめたものである。

2 福祉保健部会の概要

(1) 福祉保健部会の所掌事務について

沖縄県振興審議会に設置されている部会のうち、福祉保健部会は「社会福祉、保健衛生、医療、安全・安心等に関すること」を所掌することとされている（沖縄県振興審議会運営要綱第2条）。

(2) 福祉保健部会の調査審議箇所について

新たな振興計画（素案）のうち、福祉保健部会における調査審議箇所については、次のとおりである。なお、他の部会と一部重複する箇所がある。

○第4章 基本施策

2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して

(1) 子どもの貧困の解消に向けた総合的な支援の推進

ア 子どものライフステージに応じたつながる仕組みの構築及び
県民運動の展開

① つながる仕組みの構築

② 県民運動の推進及び子どもの貧困問題に関する普及啓発

イ 貧困状態にある子どもへの支援

① 生活及び教育支援の充実

② 経済的な支援の充実

ウ ひとり親家庭等の困難を抱える保護者への支援

① ひとり親家庭等の困難を抱える保護者への生活自立支援

(2) 誰もが安心して子育てができる環境づくり

ア 子ども・子育て支援の充実

① 妊産婦を支える体制づくり

② 乳幼児の健康の保持・増進

③ 乳幼児期の子育て環境の充実

イ 子ども・若者の育成支援

① 子どもの多様な居場所づくり

② 困難を有する子ども・若者やその家族等への支援

③ 要保護児童や児童虐待に対する取組の強化

(3) 健やかな暮らしと安心を支える充実した医療提供体制の確保

ア 「健康・長寿おきなわ」の復活

① 県民一人ひとりの健康づくり活動の定着

② 生活習慣病等の予防に向けた健康的な生活の定着

- イ 質の高い医療提供体制の充実・高度化
 - ① 地域医療連携体制の構築
 - ② 患者・家族等の支援体制の充実
 - ③ 小児医療提供体制の充実
 - ④ 周産期医療提供体制の充実
 - ⑤ 公立沖縄北部医療センターの整備推進
- ウ 離島・へき地医療、救急医療提供体制の確保・充実
 - ① 離島・へき地医療提供体制の確保・充実
 - ② 救急医療提供体制の確保・充実
 - ③ 災害医療提供体制の確保・充実
- エ 感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化
 - ① 感染症対策の強化
 - ② 新興・再興感染症拡大期に備えた医療提供体制の確保
- オ 保健衛生環境の向上
 - ① 食品等の安全・安心の確保
 - ② 難病対策の推進
 - ③ 自殺対策の強化
 - ④ 薬物乱用防止対策の強化
 - ⑤ 危険生物対策の推進
 - ⑥ 狂犬病対策及び動物の愛護・管理の推進
- (4) 高齢者・障害者等を支える福祉サービスとセーフティネットの充実
 - ア 高齢者が生き生きと暮らせる地域づくり
 - ① 高齢者の社会参加の促進
 - ② 住み慣れた地域で暮らせる環境づくり
 - ③ 介護サービスの充実
 - イ 障害のある人が活動できる地域づくり
 - ① 地域生活の移行支援
 - ② 発達障害児や医療的ケア児等への支援
 - ③ 障害者の社会参加の促進
 - ④ 誰もが活動しやすい環境づくり
 - ウ 日常生活を支える福祉サービスの向上
 - ① 福祉サービスの包括的な支援体制の強化
 - ② 困難な生活を支える支援体制の構築
 - ③ ひきこもり支援の推進
- (7) 離島・過疎地域における安全・安心の確保と魅力ある生活環境の創出
 - イ 安全・安心な生活を支えるインフラの整備
 - ① 水道施設の整備、水道広域化の推進、水道水の安定確保
 - ウ 公平で良質な医療・福祉サービスの確保
 - ① 地域の実情に応じた医療提供体制の確保

- ② 福祉・介護サービスを受ける機会の確保
- ③ ICTを活用した遠隔医療の推進
- 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して
 - (9) 希望と活力にあふれる「スポーツアイランド沖縄」の形成
 - イ 県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備
 - ③ 県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進
- 4 世界に開かれた交流と共生の島を目指して
 - (3) 世界の島しょ地域等との国際協力活動と国際的課題への貢献
 - ア 多様な分野における国際協力・貢献活動の推進
 - ④ 保健衛生分野における国際協力の推進
- 5 多様な能力を発揮し、未来を拓く島を目指して
 - (4) 人口減少に対応し、地域社会を支える人づくりと人材の確保
 - イ 持続可能な地域づくりを担う人材の育成・確保
 - ③ 保育士等の育成・確保
 - ④ 福祉・介護人材の育成・確保
 - ウ 医療・保健など地域の安心を支える人づくり
 - ① 医師の確保と資質向上
 - ② 薬剤師の確保と資質向上
 - ③ 看護師等の確保と資質向上

○第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開

- 3 圏域別展開
 - (1) 北部圏域
 - イ 生活基盤の充実
 - ① 医療・福祉の充実
 - (2) 中部圏域
 - エ 持続可能な基幹都市圏の形成
 - ① 持続可能なまちづくりの推進
 - (3) 南部圏域
 - エ 持続可能な基幹都市圏の形成
 - ③ 持続可能なまちづくりの推進
 - (4) 宮古圏域
 - ウ 生活環境の整備・充実
 - ② 医療・福祉サービスの充実
 - (5) 八重山圏域
 - ウ 生活環境整備・充実
 - ③ 医療・福祉サービスの充実

- (3) 福祉保健部会の構成について
福祉保健部会の構成は次のとおりである。

- ◎安里 哲好 沖縄県医師会会長
- 湧川 昌秀 社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会会長
- 米須 敦子 沖縄県歯科医師会会長
- 平良 孝美 沖縄県看護協会会長
- 前濱 朋子 沖縄県薬剤師会会長
- 村濱 千賀子 沖縄県栄養士会会長
- 宮城 雅也 沖縄県小児保健協会会長
- 小那覇 涼子 公益社団法人沖縄県母子寡婦福祉連合会
沖縄県マザーズスクエアゆいはあと統括責任者
- 安座間 葉子 沖縄県保育協議会会長
- 岡野 みゆき 公益財団法人沖縄県労働者福祉基金協会事務局長
- 村田 涼子 社会福祉法人若竹福祉会理事長
- 高良 清健 一般社団法人沖縄県介護支援専門員協会会長
- ※本村 真 琉球大学人文社会学部教授
- ※ 福祉保健部会専門委員以外の出席者（第1回、第2回及び第4回部会に出席、沖縄県振興審議会委員/産業振興部会専門委員）

※ ◎は部会長、○は副部会長を示す。

- (4) 福祉保健部会の開催実績について
福祉保健部会の開催実績は次のとおりである。

○第1回福祉保健部会

日時：令和3年7月14日（水）14:30～16:30

場所：県庁6階第2特別会議室

議題：

- 1 調査審議の進め方について
- 2 福祉保健部会開催スケジュールと検討テーマについて
- 3 「新たな振興計画（素案）」と「主要・成果指標」について
- 4 調査審議

○第2回福祉保健部会

日時：令和3年8月6日（金）14:30～16:30

場所：県庁6階第1特別会議室

議題：

- 1 第1回福祉保健部会意見への対応方針について
- 2 調査審議
 - (1) 基本施策2-(1) 子どもの貧困解消に向けた総合的な支援の推進
 - (2) 基本施策2-(2) 誰もが安心して子育てができる環境づくり

関連体系図(案)に対する修正意見審議結果一覧

① 主要指標			福祉保健部会		
基本施策番号	指標名	指標(案)	目標値	理由等	審議結果

② 成果指標			福祉保健部会		
施策番号	指標名	指標(案)	目標値	理由等	審議結果(案)
2-(1)-ウ-① ひとり親家庭等の困難を抱える保護者への生活自立支援	就業相談から就職に結びついたひとり親家庭の数	-	-	就職に就くことも重要だが、経済的自立には「定着率(目標値:就職後1または3年)」が肝心だと思われる。 生活困窮者の多くは、短期的な労働をくりかえしている傾向があるため、キャリアパスができず、非正規雇用、所得が上がらない、生活資金にゆとりがでないなどのループから抜けられない実態がある。 最近の障がい者就業支援でも、就職後の定着支援も福祉事業所の業務として制度が変わったので、ひとり親支援でも必要と感じた。	【原文のとおり】 県では、子育てと生計維持という二重の役割をひとりで担うひとり親家庭に対し、自立への第一歩として、個々の事情を踏まえた就業先の確保に取り組んでいることから、ひとり親支援に係る成果指標を「就業相談から就職に結びついたひとり親家庭の数」としている。 就業後の定着支援についても、自立支援事業の中で実施しているところであり、今後ともひとり親の生活の安定と収入の向上に向けた取組を支援していくこととしている。

(別紙2)

② 成果指標		指標名	指標(案)	目標値	理由等	審議結果(案)
施策番号 2-(1)-ウ-① ひとり親家庭等の 困難を抱える生 活自立支援	指標 就業相談から就職に 結びついたひとり親 家庭の数	-	-	-	ひとり親家庭の親の就業率は全国的にも高い。働いているにもかかわらず、厳しい経済状況であることが課題なので、成果指標としては「ひとり親家庭の正規雇用率」とするべきではないか。	【原文のとおり】 県では、子育てと生計維持という二重の役割をひとりで担うひとり親家庭に対し、自立への第一歩として、個々の事情を踏まえた就労先の確保に取り組んでいることから、ひとり親支援に係る成果指標を「就業相談から就職に結びついたひとり親家庭の数」としている。 ひとり親家庭の正規雇用については、就職に有利な資格取得を目的とする講座や、正規雇用を進める事業者への助成等を県として実施しているところであり、今後ともひとり親の生活の安定と収入の向上に向けた取組を支援していくこととしている。
(施策の追加に伴う指標の追加) 2-(3)-ア-③	-	-	-	-	沖縄県は、健康診断の有所見率が9年連続してワースト1となっており、当該比率を改善する必要がある。	【原文のとおり】 意見のあった施策の追加ではなく既存施策に取組を追加することから、新たな指標の追加はしない。

(別紙2)

② 成果指標		指標名	指標(案)	目標値	理由等	審議結果(案)
2-(3)-ウ-① 離島・へき地医療提供体制の確保充実	ドクターバンク事業登録医師数	へき地診療所の医療従事医師数	—	「ドクターバンク事業登録医師数」はあくまでも離島・へき地勤務希望者の登録数であるため、実際に「医療に従事した医師数」が施策の成果指標として適している。	【該当箇所を修正】	
2-(3)-エ-① 感染症対策の強化	結核患者罹患率	—	—	新型コロナウイルス感染症の他に今後も発生が世界規模で危惧されており、保健所機能や防疫体制を強化する指標になるため。	【原文のとおり】 沖縄県では、例年結核患者罹患率が全国よりも高い水準となっており、特に患者発見の遅れによる集団感染の発生や外国人結核患者の増加が課題となっている。今後も長期に渡る普及啓発や保健医療分野における連携体制の整備が必要になることが予想されることから、結核感染症の患者に的を絞ることとしたい。	
2-(3)-エ-② 新興・再興感染症拡大期に備えた医療提供体制の確保	感染管理認定看護師数	感染管理認定看護師及び感染症看護専門看護師数	—	認定看護師は提供分野や施設における実践、指導、相談を行い、専門看護師は施設や地域における予防と適切な対策、水準の高い看護を提供できるため。	【該当箇所を修正】 委員の意見を踏まえ左案のとおり修正する。	

(別紙2)

② 成果指標					
施策番号	指標名	指標(案)	目標値	理由等	審議結果(案)
2-(7)-ウ-② 福祉・介護サービスを受け る機会 の確保	介護サービスを受け られる離島数	—	—	「入所介護サービスを受けられる離島数」としてはどうか。要介護高齢者や家族が最後までで生活できるためには入所可能なサービス体制が急務。介護サービス提供はほとんどの島で実現している。	【原文のとおり】 離島における介護サービスについては、地域の実情やニーズに応じ、入所・通所等の多様な介護サービスの提供により、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう支援することをしており、このような観点から指標を設定している。 なお、離島における介護サービスについては、運営費等の補助を行っており、引き続きサービス提供の維持に向け支援していくこととしている。
5-(4)-イ-③ 保育士等の育 成・確保	<u>保育士の有効求人倍率</u>	<u>保育従事者数</u>	—	有効求人倍率に、施策の成果がどう反映されているのかわかりづらい。 保育士確保、資質向上の推進及び離職防止を図ることで、保育従事者の増加につながることから、指標として設定する。	【該当箇所を修正】

